

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1340090	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	浄化槽汚泥処理事業				
担当部名	環境部		担当課名	寺田プラント	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成17 年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的		各家庭及び事業所などの、浄化槽汚泥設置者が法令に基づき実施した清掃において出た浄化槽汚泥の全量を処理する。
事業の内容		搬入された浄化槽汚泥をスクリーンプレス脱水機において脱水し、脱水汚泥はトラックにより東部クリーンセンターへ搬出、分離液は希釈後下水道管へ放流する。
事業の対象	何を	浄化槽汚泥
	誰に	家庭及び事業所(令和元年度浄化槽設置基数20,710基、合併浄化槽4,919基)
	どのくらい	令和3年度浄化槽汚泥搬入計画量 44,535kℓ
令和3年度(実施内容)		浄化槽汚泥搬入量 41,145.9kℓ 下水道投入量(希釈水含む) 67,337.5m ³ 脱水汚泥搬出量 955,440kg

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	26,520	780	25,350	780	25,194	780
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	13,104	1,260	12,978	1,260	12,978	1,260
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	39,624	2,040	38,328	2,040	38,172	2,040

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		84,106	83,217	84,179
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	清掃関係業務	4,164	4,290	4,400
	保守点検業務	7,301	7,370	7,700
	積込運搬業務	19,119	19,866	19,866
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		84,106	83,217	84,179

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		123,730	121,545	122,351

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		123,730	121,545	122,351

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	浄化槽設置世帯	浄化槽設置世帯	浄化槽設置世帯
受益者数	20,893	20,710	20,538
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,922	5,869	5,957

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	浄化槽汚泥搬入量		単位	kℓ
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	44,235	44,730	44,535	
実績値	41,633	41,940	41,145	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	下水排水基準不適合件数		単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	浄化槽汚泥（一般廃棄物）の処理は必要である。
		廃棄物処理法による自治事務である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	浄化槽汚泥処理をしながら効率的な運営を行っている。
		施設の規模から特に必要ない。（現状維持）
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	年間搬入量をすべて処理できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	浄化槽汚泥に特化した処理施設、かつ、条例により処理手数料を設定しており、適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	公共性の高い事業であるため現状維持が望ましい。